



# The Baseball Hall of Fame and Museum

## 公益財団法人 野球殿堂博物館

### 野球殿堂博物館公式アプリ 誕生!

館長 廣瀬 信一

ここ数年、博物館の新しいサービスとして、音声ガイド導入の検討をしてみました。同時に、外国人来館者が増える中、多言語化対応も重要な課題であり、その対策を含めて何か新しいサービスの提供はできないのかと模索しておりました。特に、当館の中心施設である殿堂ホールに掲額してあるレリーフの説明に、他館にはない画期的なサービスの提供ができれば、来館者にもより楽しんでいただき、ひいては入館者の増加にも繋がるものと思いました。



昨年1月、アイテック阪急阪神株式会社様並びに株式会社ドリームオンライン様から、スマートフォンなどの端末機のカメラ機能を利用して、殿堂レリーフの情報を読み込み、殿堂入りをされた方の動画、写真等の情報を紹介するという斬新なアプリケーションをご提案いただきました。音声による説明より、動画・写真など映像による説明は、殿堂入りをされた方々の現役時代のプレーを見たことがない世代にとっては、大変興味深く、印象の度合いも深まるものと確信しました。さらに、野球の映像はそれ自体が「ユニバーサルデザイン」といえます。アプリ自体は英語での表示も可能なので、外国人来館者の方々にも野球殿堂の情報により親しんでいただけるものと存じます。

また、この時並行して日本テレビ放送網株式会社様、株式会社日テレアックスオン様からのご提案により、殿堂入り選手の映像を製作する話が進んでおりました。そして、この二つの話が合わさり、以降完成に至るまで何度も協議を重ね、本年3月14日、「野球殿堂博物館公式アプリ」発表会を開催する運びとなりました。

当日は、熊崎理事長の挨拶の後、ゲストとしてお招きした佐々木 主浩氏(2014年野球殿堂入り)にご自身のレリーフの前でスマートフォンをかざしていただき、横浜時代の勇姿を見ていただきました。

まだご利用されていない方は、是非ご来館いただき、お楽しみいただければ幸甚でございます。

終わりに、今回の新サービスの導入に当たっては、日本野球機構様をはじめ関係各位の多大なご協力をいただきましたこと、この場をお借り致しまして厚くお礼申し上げます。

### 《野球殿堂博物館 公式アプリ 発表会を開催》

発表会には、2014年野球殿堂入りの佐々木 主浩氏にご来館いただき、デモを行っていただきました。  
アプリはiOS版、Android版とも無料でダウンロードいただけます。ぜひご利用ください!  
詳細は2ページをご覧ください。



ご自身の動画をご覧になる佐々木氏



アプリの感想をのべる佐々木氏

## 《野球殿堂博物館 公式アプリ》のご案内

野球殿堂博物館では2016年3月14日に公式アプリをリリースしました。  
iOS版、Android版とも無料でダウンロードいただけます。

### 主な機能

- 1 殿堂ホール内限定コンテンツとして、AR機能により野球殿堂入りした方々の動画や写真を見ることができます。
- 2 野球殿堂入りの方々の情報や、表彰式の写真がご覧いただけます。
- 3 野球殿堂博物館の最新情報をお届けします。
- 4 「フォトスポットカメラ」を使うと球人(キュート)くん(当館キャラクター)のオリジナルフレームで撮影ができます。フォトスポットは館内各所に隠されているので、探してみてください。

球人くんとこんな写真が撮れます！



### ご利用ガイド

#### ◎ダウンロード方法

- ①iOSの場合「app store」で、Androidの場合「Google play」で「野球殿堂」と検索、もしくはこちらのQRコードからダウンロード。
- ②「野球殿堂博物館公式アプリ」のページよりアプリを無料ダウンロード。
- ③「野球殿堂博物館公式アプリ」を起動！

— QRコードからのご利用 —



iOS版



Android版

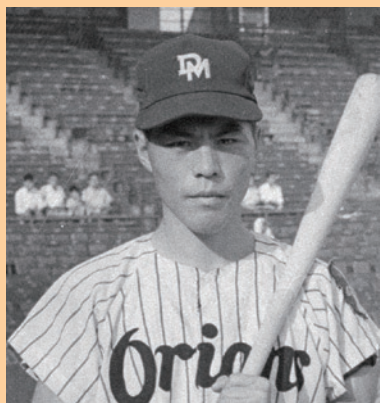
#### ◎殿堂入りの方々の動画、写真を見る方法（殿堂ホール内限定コンテンツ）

- ①アプリのメニューより「野球殿堂カメラ」を起動  
※本機能は野球殿堂ホール内でのみ起動できます。
- ②画面の白い枠内に、見たいレリーフを収めると、レリーフの情報をカメラが認識します。
- ③プロ野球1軍記録のある元選手のうち91名(2016年3月現在)についてショートムービー(1人約20秒)を表示し、続いて写真と詳細情報が表示されます。  
その他の選手、関係者については写真と詳細情報がご覧いただけます。

## 殿堂入りの人々を語る(51)

### 父 榎本 喜八の思い出

榎本 喜栄 (2016年野球殿堂入り 榎本 喜八氏長男)



2016年 野球殿堂入り  
榎本 喜八氏

この度はこのような機会を頂き大変ありがとうございます。父・喜八との思い出は圧倒的に母・伸子のほうが多いのですが、高齢で体調もくずしており、父・喜八との思い出について母とも話をしながら記述しました。

昭和30年代から40年代にかけて毎日、大毎オリオンズ(現千葉ロッテ)を中心に活躍し、初代「安打製造機」と言われた榎本 喜八は、自宅でも猛烈なトレーニングをしていたこと等は、ネットや新聞記事などでご存知の方も多と思います。昼の部屋での毎日数時間の素振りの時などはまさに「鬼の形相」で、野球道を極めようとしたその姿は、私たち家族でも近寄りがたいと思う瞬間でもありました。しかし試合を終えて帰宅し、駐車場に車が入る音がすると私も弟も一目散に迎えにいきました。実は父を迎えに行くのは口実

で、試合でいただいた賞品の中に野球盤などがいないか探しに行くのがお目当てでしたが、父はいつも笑って迎えてくれました。筋肉隆々の丸太のように太い腕に真っ黒に日焼けした顔に白い歯。私たち兄弟には無敵で最強のスーパーヒーローでありました。

父・喜八の生家は貧しい農家で、両親や兄弟の生活を楽にしたい一心でテスト生としてプロ野球選手になり、新人王をいただいた最初のお給料で人手に渡りそうになっていた自宅や畑を買い戻したと聞いています。「職業：野球、趣味：野球の榎本喜八」などと言われていたと聞いており、確かに四六時中打撃のことを探求していた印象がありますが、こと家族のことになると自分のことは後回しでいつも私たちのことを先に考える大変優しい夫であり、父でした。オフには家族揃って父のお気に入りの車に乗せてもらって、よく旅行に連れて行ってもらいました。そんな際には決まってこれまたお気に入りのカメラで、何枚もの写真を撮ってくれましたが、現像してみると子供の写真ばかりだったと母が苦笑していました。特に弟はかわいがられていて、息抜きのドライブの友としてよく連れて行かれていました。車もカメラも長年愛用していたもので、カメラは父の遺品にもなっています。生前よく私たちに「よい物を買いなさい、そして大切に長く使いなさい」と言っていました。貧しい家に生まれて苦労してきた父のポリシーだったのだと思います。私自身は現役時代の父・喜八の晩年の姿しか記憶しておりません。しかしこの度の殿堂入りに際して、授与式にゲストスピーカーとしてお越しいただきました張本 勲さんをはじめとした父の現役時代を知る方々のお話を伺い、その記録以上に凄いバッターであったということ、また式典の際に涙を浮かべながら「本当によかった!」と、手を握ってくださる方々とお会いして本当にありがたく感じるとともに、とても多くの方々に純粋に打撃を極めようとした野球選手として認めていただけたんだ、ということであらためて実感いたしました。



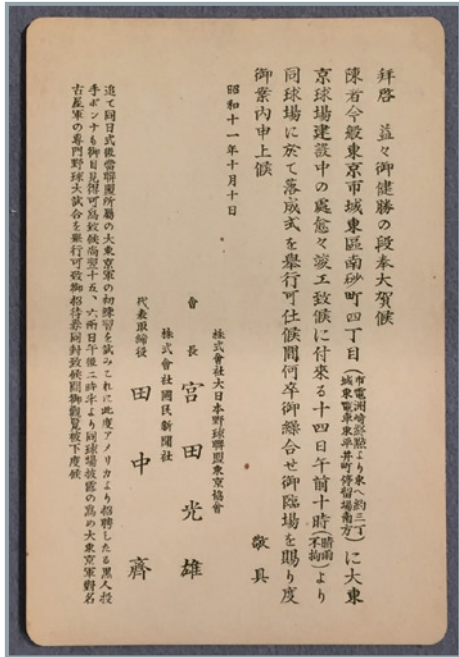
この度の野球殿堂入りは、父・喜八の野球での功績が公に認められた証であるとともに、その足跡が後世に伝えられていく機会となり、家族としても大変嬉しく、感謝しております。

(写真提供：ベースボール・マガジン社)

もの  
知ってほしいこんな資料 (86)

洲崎球場落成式案内状～連盟創立当時の球場事情

日本職業野球連盟が創立された1936年、公式戦で使用されたのは、東京の早稲田大学の戸塚グラウンド、名古屋の山本（八事）球場、鳴海球場、関西の甲子園球場、宝塚球場の5球場と、同年8月に完成した上井草球場、同じく10月に完成した洲崎球場でした。



洲崎球場落成式案内状

上井草球場、洲崎球場とも設立当時は「東京球場」とも呼ばれていました。専用球場不在の東京に競うように誕生したことから、両球場ともそう呼ばれたものと思われます。

写真左は洲崎球場落成式案内状です。大東京の本拠地として、球団と親会社の国民新聞が、城東区南砂町（現在の江東区新砂、東京メトロ東西線東陽町駅の南東側で、江東運転免許試験場の向い）の東京ガスの資材置場を借り、約2カ月弱の工期で建設しました。10月14日に落成式を開催、その後、案内状左端にも記載されているとおり大東京がこの球場での初練習を披露する予定でしたが、前日来の雨によりグラウンド状態が悪く中止となり、新入団の黒人投手ジミー・ボンナの投球練習のみ披露されたとのこと。ただ、ボンナ投手は戦力にならなかったようで、翌11月の連盟ニュースで退団が発表されています。洲崎球場は海岸に近く、満潮時にグラウンドに海水が入り込み試合が中止となるような球場でしたが、36年には巨人対タイガースによる優勝決定戦の舞台となり、球史にその名を残しています。

しかし翌37年に阪急の西宮球場、そして都心に後楽園球場が完成すると、後楽園、西宮、甲子園で試合が集中的に開催される(\*)ようになっていき、都心から離れた上井草球場、立地の悪い洲崎球場での試合は行われなくなりました。

今回ご紹介した洲崎球場落成式案内状は、現在開催中の連盟創立80年記念特別展「草創期のプロ野球」(~5月29日(日))にて展示中です。また、本展では昨年NHK「クローズアップ現代」で紹介された、洲崎球場での36年優勝決定戦、巨人対タイガース第3戦の映像を、撮影者のご親族よりお借りして上映中です。沢村 栄治投手の投球シーンがご覧いただけます。ぜひご覧ください。

\*当時は現在のように各球団が本拠地球場をもつというフランチャイズ制はまだなく(1952年から)、複数の球団がセットで移動し、1日3~4試合を数日間集中して開催するという日程で開催されました。



「洲崎球場跡」  
江東区教育委員会が設置した記念碑

## ベストショット オブ ザ イヤー表彰！



左より報知新聞 鈴木編集局長、池内カメラマン、廣瀬館長

野球殿堂博物館では、企画展「野球報道写真展 2015」（会期 1月26日～2月28日）にて開催した「ベストショットオブザイヤー」投票で、投票総数2,232票のうち、約1割にあたる227票を獲得し第1位となった「坂本が飛んだ！見せた気迫ヘッド」を撮影した報知新聞社の池内雅彦カメラマンに、表彰状と記念品を贈呈しました。

### 池内 雅彦カメラマンのコメント

「この賞は若い人たちの励みになっていっていると思いますが、来年もいただけるようがんばります。」

企画展「野球報道写真展 2015」

会期 2016年1月26日(火)～2月28日(日)

## 「野球報道写真展 2015 ベストショット オブ ザ イヤー」

### ■最終結果

投票総数 2,232票

	タイトル	加盟社・カメラマン	得票数
1	59. 坂本が飛んだ！見せた気迫ヘッド	報知新聞社 池内 雅彦	227
2	11. 黒田が帰ってきた	日刊スポーツ 藤尾 明華	187
3	57. 山本昌 現役最終登板	時事通信社 石塚 マリコ	103
4	62. 祝い酒	東京スポーツ 庄司 啓介	98
5	66. 大谷快投も…	スポーツニッポン 尾崎 有希	88
6	5. 長嶋さん、阿部を再生	日刊スポーツ 松本 俊	69
7	47. 関東一・オコエのダイビングキャッチ	スポーツニッポン 北條 貴史	69
8	23. 柳田 スコアボード破壊弾	スポーツニッポン 篠原 岳夫	62
9	35. 被爆から70年 ピースナイター	デイリースポーツ 出月 俊成	55
10	22. 中畑 清 監督	報知新聞社 今西 淳	51



第1位 坂本が飛んだ！見せた気迫ヘッド  
報知新聞社 池内 雅彦

### 第2位

黒田が帰ってきた  
日刊スポーツ 藤尾 明華



### 第3位

山本昌 現役最終登板  
時事通信社 石塚 マリコ



### 第6位

長嶋さん、阿部を再生  
日刊スポーツ 松本 俊



### 第9位

被爆から70年 ピースナイター  
デイリースポーツ 出月 俊成



### 第4位

祝い酒  
東京スポーツ 庄司 啓介



### 第8位

柳田 スコアボード破壊弾  
スポーツニッポン 篠原 岳夫



### 第5位

大谷快投も…  
スポーツニッポン 尾崎 有希



### 第7位

関東一・オコエのダイビングキャッチ  
スポーツニッポン 北條 貴史



### 第10位

中畑 清 監督  
報知新聞社 今西 淳



この冬開催予定の「野球報道写真展 2016」もお楽しみに！

## 野球殿堂博物館 トピックス (2016年1月~4月)

1月27日(水)

**侍ジャパン 女子代表 志村選手来館!**

2012年、14年のW杯で主将を務めた志村亜貴子選手が、1月27日来館しました。来館記念として、ご自身のプレーが写った写真パネルにサインを頂きました。

(写真提供 報知新聞社)



2月5日(金) **マーリンズ関係者が来館しました!**

2月5日、大リーグのマイアミ・マーリンズの関係者が来館しました。

デイビッド・サムソン 球団社長、ピーター・ロイエロー 広報担当 上級副社長、97年、03年のワールドシリーズ優勝メンバーのジェフリー・コーナイン氏(球団社長付特別補佐)の3氏が、館内を見学しました。



右よりサムソン社長、コーナイン氏、ロイエロー氏

2月20日(土)

**「シエナ・サクセス&トランペット コンサート」が開催されました!**

2月20日(土)に、公益財団法人文京アカデミーの主催による「シエナ・サクセス&トランペット コンサート」が、野球殿堂ホールにて開催されました。サクソフォンのカルテット「シエナ・サクセス」により、「マイ・フェアバリット・シングス」、「ラグタイム組曲」などが、続いてトランペットも加わり、「マカレナの乙女(闘牛士のマンボ)」が演奏されました。また、当日がお誕生日の長嶋 茂雄さん(1988年野球殿堂入り)にちなみ、「私を野球に連れてって」、「六甲おろし」、「闘魂こめて」の「ベースボールメドレー」を演奏、最後はアンコールに応じて、「星条旗よ永遠なれ」で締めくくりました。



### 《2016年野球シーズン開幕 記念イベント》

◎ 3月26日(土)・27日(日) **「バット製作実演」開催**

2016年3月26日(土)・27日(日) (10:30~11:30、12:00~13:00)に「バット製作実演」を開催しました。(協力:ミズノ株式会社)

今回も、ミズノテクニクス株式会社の渡邊 孝博クラフトマンにお越しいただき、原料の木材やバット製作の工程についてのお話をいただいた後、20分ほどかけて、実際にバットを削っていただきました。質疑応答では、さまざまな質問がありましたが、一つ一つ丁寧に答えいただきました。両日とも、たくさんのお客様に渡邊クラフトマンの実演とお話を、楽しんでいただくことができました。



◎ 4月2日(土) **トークイベント「野球のプロフェッショナル：審判員 2016」**

2016年4月2日(土)14:00から、野球殿堂ホールにおいて、トークイベント「野球のプロフェッショナル：審判員 2016」を開催しました。講師は、野球規則委員で前NPB審判長 井野 修氏と、現NPB審判長 友寄 正人氏です。



講師の井野 修氏



講師の友寄 正人氏

前半では、プロ野球の審判員のお仕事や、審判員になるにはどうしたらよいかについてお話いただきました。またお二人が、どのようなきっかけで審判員を志したのか、ご自身の審判員としての育成過程や思い出についても、語っていただきました。後半は、今年の野球規則の主な改正点について、ご説明いただきました。特に、本塁での衝突プレイに関する規則、所謂「コリジョナルール」の変更について、ご説明いただきました。参加者の皆さんは、普段なかなか聞くことのできない、審判員の専門的なお話や具体的なエピソードに熱心に耳を傾け、質疑応答では、多くの質問が挙がりました。

### 《プロ野球12球団デー》

◎ 3月20日(日)・21日(月) **埼玉西武ライオンズデー**

今シーズンも12球団のファンクラブ会員様向け企画「12球団デー」を開催します。今年から各球団2日間もしくは3日間の開催に変更しました。ライオンズデーでは2日間で合計390人の会員様にご入館いただきました(うち無料招待となる小・中学生は88人)。その他11球団の日程は以下の通りです。

- |                    |                  |                    |
|--------------------|------------------|--------------------|
| ・3月20、21日 西武(終了)   | ・5月10、11日 オリックス  | ・7月8~10日 巨人        |
| ・4月19、20日 楽天(終了)   | ・5月13~15日 ヤクルト   | ・7月12、13日 ロッテ      |
| ・4月22~24日 DeNA(終了) | ・5月27~29日 阪神     | ・8月30、31、9月1日 日本ハム |
| ・5月3~5日 広島         | ・6月26、27日 ソフトバンク | ・9月2~4日 中日         |



## 2016年度の維持会員を募集中!

「公益財団法人 野球殿堂博物館」(旧・財団法人 野球体育博物館)は、1959年に野球専門の博物館として開館して以来、野球を中心とした資料を収集・保管・公開してきました。バット等の実物・写真資料は約4万点、図書・雑誌は約5万冊を収蔵しており、展示や閲覧という形で多くの方々にご利用いただいております。

また年1回、競技者表彰委員会と特別表彰委員会にて野球界の功労者を選出し、「野球殿堂入り」として表彰しています。

維持会員とは、このような博物館の事業にご賛同いただいた方々に、維持会費をお願いし、博物館の運営をご支援いただくものです。

### 1. 会員の特典

- (1)当博物館発行「ニュースレター」(季刊)を送付します。
- (2)何度でも無料で博物館に入館できる優待証を発行します。
- (3)アメリカの野球博物館(クーパースタウンにある)にも無料で入館できます。
- (4)会員以外の方でも利用できる博物館招待券を差し上げます。
- (5)イベント情報などを優先的にご案内します。
- (6)博物館で販売している商品が10%引きになります。



\*新法人・個人会員には上記の特典のほか、『野球殿堂2015』を呈呈します。(ジュニア会員を除く)  
\*新ジュニア会員には上記の特典のほか、「野球殿堂博物館オリジナルピンバッジ」を差し上げます。

### 2. 会員の種類と会費 年会費(4月~翌年3月迄)

法人会員 1口 100,000円 個人会員 1口 10,000円  
ジュニア会員(小・中学生) 2,000円

\*ご入会月により、個人会員の初年度年会費が割引になります。

ご入会月	4月~9月	10月~12月	1月~3月
維持会費(個人会員)	10,000円	5,000円	2,000円

### 3. ご入会の方法

- ①館内にあります「維持会員募集のご案内」の「入会申込書」に、必要事項をご記入のうえ、係りにお渡しいただくかお送りください。「維持会員募集のご案内」は郵送もいたしますので、ご希望の方は博物館までご連絡ください。
- ②「入会申込書」が届きしだい「維持会費のご請求書」をお送りしますので、維持会費をお振込みください。

皆様のご協力、よろしくごお願い申し上げます。

お問い合わせ：博物館 事業部 (TEL 03-3811-3600)

## 博物館からのお知らせ

### ▶ 理事会

3月14日(月)に都内のホテルにおきまして理事会を開催いたしました。

#### 議 題

1. 平成28年度の事業計画・収支予算の承認について
2. 諸規程の一部改正の承認について
3. 新評議員候補者の承認について
4. 会議日程の承認について



#### 報告事項

1. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
2. 職員採用について
3. 「野球殿堂博物館検討委員会」及び「在り方検討委員会」からの中間報告
4. 「野球殿堂博物館公式アプリ」の導入について
5. その他

### ▶ 職員

4月1日付で、新職員が加わりました。皆様、どうぞよろしくごお願いいたします。

《学芸部 学芸員》林 真美 略歴



茨城県出身  
茨城大学人文学部(日本近現代史専攻)2011年卒業  
茨城大学大学院人文科学研究科修士課程2013年修了  
東京都葛飾区に2014年から2016年まで勤務し、葛飾区史編纂業務に携わる。  
2016年4月1日より当館の学芸員として勤務。

### ▶ 訃報

2月27日に元特別表彰委員の西田 善夫氏が、  
3月13日に特別表彰委員の達摩 省一氏が逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### ● 編集後記

紙面の都合により「こんにちは図書室です」、「コラム博覧/博楽」は休載します。

### ▶ 販売中

● **野球守 2016** 価格 800円(税込)  
ご好評いただいております「野球守」が、2016年版として新しくなりました。みなさまの野球を応援する御守りです。2016年もご愛顧頂きますようお願いいたします。  
※「野球守 2015」の返納箱をご用意しております。



● **グリーンリストバンド 2016** 価格 540円(税込)

グリーンリストバンド 2016の販売を開始しました。売上金の一部は、CO2削減のための植樹活動「プロ野球の森」に役立たせていただきます。



● **プロ野球 イースタン・リーグ観戦ガイド 2016** 価格 500円(税込)

イースタン・リーグの観戦情報誌で、1993年の創刊から数えて今年で25号を迎えます。数量限定での販売になりますので、お早めにお求めください。



**博物館のご案内**

場 所 東京ドーム21ゲート右  
開館時間 3月1日~9月30日 AM10時~PM6時(入館は閉館の10分前まで)  
10月1日~2月末日 AM10時~PM5時(30分前まで)  
入館料 大 人 600円(500円) ( )は20名以上の団体  
高・大学生 400円  
小・中学生 200円(150円)  
65歳以上 400円  
休館日 月曜日(祝日、東京ドームでの野球開催日、春・夏休み中の月曜日は開館) 年末年始(12月29日~1月1日)

### 《5月・6月・7月の休館日》

5月 9日・16日・23日・30日 ※5月2日(月)は開館します。  
6月 13日・20日  
7月 4日・11日 ※7月12日(火)~9月4日(日)まで無休です。

### 野球殿堂博物館 Newsletter 第26巻 第1号

2016年4月26日発行(年4回発行)  
編集・発行 公益財団法人 野球殿堂博物館  
(旧・財団法人 野球体育博物館)  
〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61  
Tel 03(3811)3600 Fax 03(3811)5369  
http://www.baseball-museum.or.jp/



# The Baseball Hall of Fame and Museum

## 公益財団法人 野球殿堂博物館

### リレー随筆 (63)

#### 「時短」のお手本

競技者表彰委員会幹事 神保 忠弘 (毎日新聞社)

日本プロ野球組織 (NPB) が近年、熱心に取り組んでいるのが試合時間の短縮、すなわち「時短」だ。試合時間に制限がないのは他のスポーツと異なる野球の特色だし、時には投手と打者の駆け引きの「間」も魅力の一つだと思う。しかし NPB の分析によれば若い人はよりスピーディーなスポーツを好み、野球のゆったりしたテンポがファン離れを招く要因の一つとなっているらしい。

昨年には NPB 内に「ゲームオペレーション委員会」が作られ、球団だけでなく審判、選手会も含めて時短の具体策を検討している。ちなみに2015年のセ・パ公式戦 (9 回試合) の平均試合時間は3時間13分。前年より4分短縮されたとはいえ、まだまだ長めである。

さて、時短と聞くと筆者は、ある試合が頭に浮かぶ。1942年5月24日、後楽園球場での大洋 - 名古屋戦。日本プロ野球史上最長の延長28回の末に4 - 4で引き分けた有名な試合だが、試合時間はなんと3時間47分！いまなら9時間以上かかるのではないか。

野球通なら周知の通り、大洋は野口 二郎 (1989年野球殿堂入り 1920 - 2007)、名古屋は西沢 道夫 (1977年野球殿堂入り 1921 - 1977) の両投手が28回を一人で投げきった。投球数は野口さんが344球、西沢さんが311球。西沢さんは早世されたためお目にかかることができなかったが、野口さんには生前に史上最長試合の思い出を尋ねる機会があった。

「あのころは軍隊の支配が強くて、『勝負は白黒つけろ』という風潮でね。それで28回までいったのですよ」。2003年の夏の盛り、兵庫県宝塚市のご自宅で行ったインタビューで、当時83歳の野口さんは木訥とした口調で振り返ってくれた。

「試合時間はウソみたいに短い。非常にスピーディーだった。これが当時のプロ野球の売り物の一つだったんです」。

今とは正反対だ。

「投手はマウンドへ駆けていく。外野手は外野へ走っていく。あと、今はベンチからのサインとかも多いでしょう。できるだけ選手の自由にさせたほうがスピードは速くなると思います」。

選手はグラウンド上での一挙手一投足から無駄をはぶき、キビキビとプレーする。チームはベンチからの管理を最低限に抑え、プレーヤーの自主性を重んじる。「時短」のお手本が、ここにあった。

これ以外にも野口さんのお話は、せいぜい昭和50年代以降のプロ野球しかリアルタイムで知らない筆者にとって、驚くことばかりだった。例えば野口さんは、延長28回の前日の試合でも先発し、しかも九回1死まで無安打無得点という好投で1安打完封している。

「『まさか明日は投げることはないだろう』と、その夜はハシゴ酒でほろ酔いしたんです」。

誰だってそう思う。

「ところが翌日に球場へ行ったら先発と言われた。当時は選手も少なかったし、球場に行ってみないと自分のポジションも打順もわからないのが普通だったので、『そうか』と思ってマウンドに上ったら28回に(笑い)」。

試合後もユニホームを着ている間は疲れもなく、「もう1、2回は投げられる感じだった」が、宿に戻ると食欲がわかず「ハマグリのおすましだけ飲んで、すぐ寝てしまった」という。

こうしたエピソードを「時代が違う」の一言で切り捨てるのは簡単だろう。それでも筆者は、インタビューの締めくくりに野口さんから聞いた次の言葉には、時代を超えた真実があると思うのだ。

「私の若い頃は『投手は完投するのが当たり前』『大会は一人で投げ切るのが当たり前』だった。酷ですが『どうやって、それをやり抜くか』と考えることで、何かが生まれることもあるんですよ」。